

令和2年10月16日発行

令和2年度の塩田中学校を運営していただく新しいメンバーをご紹介します

会長 中島 構治（なかしまファーム代表取締役）
副会長 高島 郁子（嬉野市子ども連絡協議会副会長）

山田 龍介（志田焼の里博物館館長）
森 喜代美（市社会福祉協議会事務局）
貞包 知寛（嬉野市商工会）
原田 教子（塩田幼稚園）
大島としえ（りすの森保育園）
島本 克己（佐賀県立嬉野高等学校校長）
峰松 洋保（塩田中学校PTA会長）
橋本 幸雄（塩田小学校校長）
嬉野市教育委員会

坂本 和子（久間小学校校長）
光岡 民夫（五町田小学校校長）
榮岩 和浩（大草野小学校校長）
野崎 武人（塩田中学校校長）
江下 毅（塩田中学校教頭）
藤井陽太郎（塩田中学校事務長）
本島 民子（塩田中学校教務主任）
江口 裕尚（塩田中学校主事）

第2回塩田中学校学校運営協議会が開催されました

11名の学校運営協議会委員の方々にご参加いただき、第2回塩田中学校運営協議会が開催されました。第1回が感染症対策により中止となったため、今回は初の顔合わせとなりました。



<内容>

- (1)開会
- (2)会長紹介および副会長選出・承認
- (3)会長、学校長からのあいさつ
- (4)協議
 - ①自己有用感を高める生徒指導(開発的生徒指導)について(職員より)
 - ②校則の見直しについて(生徒より)
 - ③質疑
- (5)その他
- (6)閉会

・学校運営協議会長・校長からのあいさつ



【校長 野崎 武人】

新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行の中止や体育大会の半日開催など、学校行事も変更せざるを得なくなった。また、今年度から校長として、
①定期テストの廃止
②制服の見直し
③校則の見直し
の3つの改革を考えている。

子どもの個性を伸ばしていくには、大人が手助けをしていく必要がある。子どもが自信を持つことが大事であり、そのことが学力を伸ばす契機にもなる。のびる生徒・停滞する生徒では差が出てくる。



【会長 中島 構治 様】

・自己有用感を高める生徒指導(開発的生徒指導)について

現在の生徒の現状や課題について、本校の久和原 聖子教諭が報告を行いました。

本校の生徒は、問題行動がほとんどなく、素直で純朴である一方、指示待ちが多く、自ら考え判断して行動することがあまりできない傾向にあります。それを改善するために、「出番」「役割」「承認」を軸とする「開発的生徒指導」に取り組むことにしました。この考えを基に、生徒が主体となって校則の見直しをまずは行いたいと考えています。



【熱弁する久和原 聖子教諭】

・校則の見直しについて



【左から、田崎 翔太(2年)・井手 湊音(3年)・大塚 美咲(3年)・原口 真央(3年)】

生徒会長の原口 真央さんをはじめとした4名の生徒が、校則の見直しについて語りました。生徒とは思えぬ堂々とした話っぷりに、運営委員の皆さんも驚きを隠せないようでした。

生徒全体に校則についてのアンケートをとった結果、

- ・部活動後は体操服や部活動の服装で下校させてほしい
- ・教科書等を学校において帰れるようにさせてほしい

の2点が多く挙げられていたため、11月13日に臨時生徒総会を開き、討議することになりました。生徒全員が真剣に考え、たくさんの意見を出してくれることを期待します。



【生徒会長の原口 真央(3年)】

校則を見直すきっかけは、「みんなが学校生活を送るうえで困っていることはないか」ということを知るためにアンケートをとったり、先生方と話し合いをしたことでした。校則の見直しについては、自分たちが主体で進めていくことができることを知り、やりがいを感じています。



☆次回の運営協議会は、2月1日(月)に開催予定です☆